



2020年5月21日

各 位

会 社 名 乾汽船株式会社
代表者名 代表取締役社長 乾 康之
(コード番号：9308 東証第一部)
問合せ先 コーポレートマネジメント部長
加藤 貴子
(TEL. 03-5548-8613)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

全ての取締役及び監査役に対し、取締役会の実効性に関する評価の趣旨等を説明の上、質問票を配布し、全員から回答を得ました。そのうえで、第三者専門機関による当該回答の集計・分析を踏まえ、取締役会における討議を通じ、当社取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしました。

なお、評価を実施した大項目は以下の通りです。

- ① 取締役会の役割・機能
- ② 取締役会の構成・規模
- ③ 取締役会の運営
- ④ 監査機関との連携
- ⑤ 経営陣と社外役員とのコミュニケーション
- ⑥ 株主・投資家との関係

2. 評価結果の概要

当社取締役会は、評価を実施した上記の各項目において概ね適切に機能しており、取締役会の実効性は十分に確保されているものと考えております。

具体的には、取締役会の役割・機能としては、当社取締役会は、当社の取締役会のあるべき姿に関する適切な理解・認識が共有されており、中長期的な経営戦略・経営計画等に関して詳細かつ建設的な議論が行われていることが評価されました。その上で、今後は、事業ポートフォリオのあり方、特に、市況変化が激しく全社業績への影響も大きい“外航海運事業”に関する戦略とその進捗管理を併せた議論をさらに充実させていくことの重要性が確認されました。

取締役報酬についての議論は、当社が2018年度に任意で設置した「指名・報酬委員会」(2017年度まで当社が任意で設置していた報酬委員会に取締役の指名等に係る諮問機能を追加拡充して設置したものです。代表取締役1名、独立社外取締役2名(内1名が指名・報酬委員会委員長)で構成されております。)が適切に機能していることが評価されました。

また、当社取締役会の構成・規模としては、「当社の経営方針・事業特性等と照らし必要なスキル・経験等を有する取締役で構成され、そのバランスも十分である」との評価がなされ、これらを踏まえ、機動性が高くオープンで活発な議論が展開されていることが高く評価されました。

当社の経営戦略に関する株主・投資家の理解を深める IR の戦略的な実施等については、当年度初めて社外取締役による機関投資家への訪問と対話の機会を設け、今後も実効的なコーポレートガバナンス実現のために有益であると認識いたしました。

一方で、取締役会の実効性をより高める観点から、代表取締役等の後継者計画について、これまでは指名・報酬委員会を中心に議論して参りましたが、今後も充実すべき審議事項として認識いたしました。

3. 今後の対応

当社取締役会は、本評価結果を踏まえ、取締役会全体の実効性を更に高めていくための継続的な取り組みを行ってまいります。

以 上